



年の始めに

ねいの里館長 富永 宣宏



あけましておめでとうございます。
昨年は北陸新幹線の開業という、富山県が全国的に脚光を浴びる記念すべき1年になりました。

我が家からも新幹線の高架橋がすぐ近くに見え、新幹線が通過する様子を見るにつけ、新しい時代の幕が開けたことを実感させられます。

ねいの里でも、昨年は開館からの入館者が100万人を突破するなど、記念すべき年になりました。

この記念すべき年に、北日本新聞社からの提案により、毎週水曜日に新聞の「ぶんぶんジュニア」というこども向け紙面に「自然大好き ねいの里だより」を連載いたしました。この記事に対する利用者の認知度は大きく、来館者から、「毎週見ているよ。」「楽しみにしているよ。」と言われることが多く、これが大変励みになりました。

職員全員で協議をしながら、執筆者を決めるのですが、いざ書くとすると「来月はどんなテーマにする?」「子供たちが喜んで呼んでくれるテーマは何か?」「写真はありますか?」など、決めなければならないことも多く、締め切り日が近づいて来ると、気が気ではありませんでした。改めて、300字程度の限られた字数で、一つのテーマを解説する難しさを実感しました。

しかし、職員にとっても、ねいの里で県民にアピールできる自然や館の取り組みは何なのかを、再認識するいい機会になったのではないかと考えています。



(初回の連載原稿)



(木馬の広場と遊具)

また、職員によって文章に特徴があり、「へー、この人がこのような文章を書くのか!」と意外な一面を発見することもできました。

マスコミに対する定期的な情報提供というものは、ねいの里のような小規模な自然教育施設にとっては大変なPR効果があるので、このような連載の機会を提供して下さった北日本新聞社に対しても大変感謝しております。

この連載は今年も継続することになっていますので、今年はどういう記事が登場するのか楽しみにしてください。

また、昨年は新しい試みとして、

- ① ハンモック広場や木馬の広場など、主に幼児を対象とした手作り木製遊具の設置
- ② 保育園に生き物やはく製を持って行き、園児たちに生き物に触れてもらうための出前講座の実施

などの新しい施策に取り組みました。これらの効果により、小さい子供さんの利用は大幅に増加してきました。昨年の実績を踏まえながら、お客さんに満足してもらうために、今年も新しい“しかけ”を考えています。どんな“しかけ”が出てくるのか、お楽しみに。



(保育園での出前講座のようす)

「キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ」

平成 27 年 10 月 4 日 (日)



これは何だろうなあー？

園内では9月初めからイグチの仲間が大発生し豊作の予感。近くの某所で(キノコの出る場所は親子でも教えないといいます)マツタケも採れ、展示することができました。参加者の皆さんは採ってきたものが鑑定で食用キノコとわかると喜んでおられました。

キノコ狩りの後は恒例のキノコ鍋です。今回はヌメリコウジタケやハナイグチ、ナメコが丸ごと入っていて好評でした。



(採れたマツタケ)古くなっていて、食べられませんでした。残念ー

「巣箱を作ろう」

平成 27 年 11 月 7 日 (日)

鋸を持つのも金槌を使うのも初めての体験です。お父さんやお母さんに手伝ってもらい一生懸命に巣箱を作りました。(小鳥が入りますように)

その後、古洞の池で冬鳥の観察をしました。



がんばるぞ〜



ウォッいるいるあれは何だ...

フムフム

「クリスマスリース作り」

平成 27 年 11 月 29 日 (日)



自然塾の会のリース作りです。クズやノブドウの蔓で作った輪っかに、思い思いの飾りつけをします。木の実やドライフラワー、緑の小枝などをたくさん付けて豪華に作る人。木の実だけをシンプルに付ける人。それぞれ個性が出た力作が出来上がりました。

実は、このリース作りで大変なのは、輪っか作りなんです。蔓を切り出し、巻き付ける。50個ほど作りますが、どこで蔓の調達をしようか毎年悩みます。

自然塾の皆さん、今年のリース作りは輪っかを作るところから参加しませんか？



「正月飾り作り」

平成 27 年 12 月 20 日 (日)

自然塾の会会員 上村 末子



初めて企画された「正月飾り作り」に参加させていただきました。講師の方の自然の物を利用して鶴亀に見立てる発想に感激でした。まずは日本産の藁を捻じりながら3回巻いたメ縄に、パーツの五穀豊稔稲穂・紅白御幣・春迎と書いた短冊を付けます。この後、とろろ葵のサヤを上手く利用したタンチョウ鶴。全体を白、頭に赤い帽子、嘴と尾・羽は黒で色付けすると今にも舞そうです。続いて胡桃の殻とヒマワリの種で亀さん、オイバネに見立てた椿の実に色を付け、松枝と松ぼっくりをあしらって出来上がりです。楓の実で干支の申も可愛くでき、また子供達の素晴らしい発想に驚きました。スタッフの方達の美味しいあべかわ餅も最高でした。ご馳走様でした。

これからも出来る限り参加したいと思います。よろしくお願いいたします。

「炭焼きに挑戦」

ねいの里自然塾の会副会長 長谷川 寛

昨年11月に2年ぶりとなる、ねいの里の炭焼きを行いました、炭焼きは昨年亡くなられた丸山功さんが中心となって進めて来られました。最近炭焼き窯の温度が上がらず良い炭が出来ていません。原因を想定して窯の修理等をしてきました。

今回、富永館長と松崎さんを中心に再度炭焼きを行おうとの話があり、丸山さんと一緒に炭焼きを行った時のデータや写真を参考に挑戦する事になりました。

11月6日に過去のデータ説明会、15日に窯への原木入れと焚き口作りを行いました。今回の材料はコナラが中心で、過去になく良い材料ですが、ちょっと気になったのは原木が足りずに窯の前部に空間が出来た事です。18日の朝から炭焼きを開始。まずは煙突出口温度が約80℃になるまで夜通し窯を焚き続けることになるため、常時2～3人で火の番と燃料の薪割り作業を行います。18日の徹夜は富永館長と松崎さん、19日は松崎さんと長谷川が担当することに。



(窯焚きの様子)

過去の正常データでは1日目の夜に80℃程度に到達しますが、今回はなかなか上がらず24時間で60℃、48時間で70℃と目標値に達しません。焚き口の火も窯の中に入るのは少なく、これ以上の上昇は難しいと判断し20日13時に炭焼きを中止しました。

窯が冷却後内部を確認し原因調査を実施、さらに頼成の森で炭焼きを行っている方に、指導をしてもらうことにしました。12月7日に炭焼きをしておられるT氏に来て頂き、炭窯を開放して内部を見てもらいました。窯の中の炭材はほとんど生木の状態で焼けていませんでした。その結果を受けて以下の点で指摘がありました。

- ① 炭材の入れ方良くない。
- ② 炭材の長さが揃っていない。
- ③ 燃料の薪が大きすぎて燃えにくい。
- ④ 燃焼口の構造、薪の焚き方や違う(いろいろあるが、T氏のやり方と違う)。

指導を受けた後で、窯の中から焼けなかった炭材をすべて出して長さを揃え、不足分の補充、煙突の詰まり除去などを行い、T氏から指導を受けたやり方で再挑戦する事になりました。新方式による炭焼き結果が楽しみです。

現在要員不足の為、炭焼きに興味のある方は是非お手伝いをお願いします。

自然塾の会事務局

T氏に指導を受けたやり方で12月16～18日にかけて行った炭焼きの結果です。



順調に温度が上がり、窯の中にもよく火が回りました。よく焼けることを期待して窯を塞ぎ、冷えるのを待ちます。



窯の中では勢いよく炭が燃えだして手が付けられなくなりました。出せなかった炭は窯の中で燃えてしまいました。

原因は、

- ① 窯を塞ぐのが少し遅かった。
- ② 窯の密閉が不十分で空気が中に入った。等ではないかと考えています。

次回こそはっ！！



1週間後の12月25日わくわくしながら窯を開けてみると、なんだか焼け過ぎの感じです。

まだ火種が残っていたらしく、しばらくすると火が起こってきました。水をかけながら炭をかき出しますが、火は大きくなるばかり。



(取り出せた炭)

ねいの里 ホオホオニュース



2015年(第14回)アサギマダラのマーキング情報

富山アサギマダラ調査グループ

今回は個人19名と1グループ(ジュニアナチュラリスト)が活動しました。マーキングできたのは827頭で前回の半分程度でした。そのうち県外で再捕獲されたのは12頭あり、移動距離の長かったものは、白鳥山～沖縄県与那国島の1,973kmがありました。

マーキング実績		県外で再捕獲されたもの	
場所	頭数	頭数	再捕獲場所
朝日町 白鳥山	465	6	和歌山県日高町, 沖縄県与那国島, 石川県白山市(2頭), 長野県宮田村, 京都府嵯峨水尾(藤袴園)
有峰	162	3	山口県下関市, 沖縄県与那国島, 愛媛県西尾市
魚津市 大平山	86	1	愛媛県西尾市
朝日町 烏帽子	59	0	
その他	55	2	石川県白山市, 三重県津市

ねいの里行事案内 (ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 1月 4日(月)～6日(水) 9:00～17:00(4日は13:00より) 場所:ねいの里
「春の七草頒布会」
(200セット限定 要予約 1セット200円 1人2セットまで)
- 1月 31日(日) 9:00～12:00 集合場所:ねいの里
「カンジキハイク」 冬の里山をカンジキで散策します。
- 2月 13日(土) 9:30～12:00 集合場所:ねいの里
「冬の生き物観察と動物の体を調べる」 生き物の生態観察とジビエの試食をします。
(ジビエ試食は30食限定 要予約 1食200円)
- 3月 20日(日) 9:30～12:00 集合場所:ねいの里
「ねいの里の春見つけ」 早春の園内で春の息吹を探します。

〈行事へ参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。〉

■ 企画展

- 11月25日～3月31日 ネイチャーフォト展
- 12月9日～1月18日 春の七草実物展
- 3月12日～4月18日 県内のサンショウウオ展

■ お願い ■

- 「ふくろう通信作成への協力をお願い」
日頃思っていること、人に話したいことを「ふくろう通信」に載せてみませんか。
皆さんからの投稿をお待ちしています。
- 会員の駐車場利用について
会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用来ます。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 富永 宣宏
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>